ムサビとコラボ！

今回のつくば大会の展示・ホスピタリティルームは、デザイン経営の実戦へ向けて、武蔵野美術大学の視覚伝達デザイン学科、クリエイティブイノベーション学科より手をあげてくれた 3 名の学生さんとのコラボレーションです。当社が大切にしている価値を共有し、デザインでそれを実現しようとする意志の強さを制作の過程で感じました。今回の展示にはたくさんの想いがギュッと詰まっています。

業界団体への協力

動物実験業界やその他各業界団体の発展のために、当社ではできる限りの参加や協力をすることを良いこととしています。業界団体の役員や幹事などとしてのお手伝いや、委員会への参加など、お声掛けいただいて携わらせていただいているものも多数あります。また、本業界をよりよく理解するためにも、社員には資格取得のみならず、各研究会・講演会にも積極的に参加を促しています。社員一人一人が本業界の一員である自覚を持ち、業界に少しでも貢献できるよう日々業務を行っています。

特注品の開発 ～ご要望をいかに形にするか～

「まずは夏目に聞いてみよう」をビジョンに掲げる当社では、昔からたくさんの特注品を開発してきました。何がしたいか、どうなっていてほしいかなど細やかなご要望をお伺いして、当社の技術やノウハウでいかに形にするかにやりがいを感じています。お客様の声・意見に耳を傾け、特注品として製作した製品は数えきれないほど！既存品のサイズ変更等の仕様変更はもちろんですが、これまで世の中になかったような製品を一から開発を行うことも多々あります。

特注事例！ TK-2021-03 低酸素チャンバー

飼育ケージをチャンバーに入れてそのチャンバー内の酸素濃度を調整できる仕組みを付与しました。単に酸素濃度を下げるだけでなく、室内の空気に窒素を混合したガスを 24 時間連続で供給し続け、温度・湿度・アンモニア濃度の上昇を防ぐことができ、より良い飼育環境を提供できるようになりました。また、各部品を 1 台のカートにまとめ、設置スペースを最小限にしました。

ここから特注品開発部へ

動物逃亡防止柵
TK-2021-01 関節角度測定器
TK-2021-04CCI モデル作成装置
TK-2021-02 卵巣イメージング装置
TK-2022-01 マウス固定器（特注）

技術者 2 級の資格保有者多数！

私たちには動物実験に関わる者として、正しい理解をして、発信をしていける存在になりたいという強い想いがあります。そのための第一歩として、実験動物技術者 2 級の資格取得を部門問わず全社員に推奨しており、現時点で社員の半数以上の 22 名（63%）が取得をしています。研究者の皆さんの実験の成功のお手伝いをすることが私たちの仕事です。ただの機材屋ではなく、“ユーザー目線” での取組みをするためにも資格取得を推奨しています。「まずは夏目に聞いてみよう」という存在であり続けていきたいと思います。

ユーザー様の「現場」を知るための研修

私たちは機材メーカーであり、実際に実験を行うことはしていません。だからこそ、私たちがお届けする機材がどのように使われているかを意識的に体験し、知る必要があります。そのために、入社 3 年以内の社員を対象に、実際に動物実験が行われ、実験動物が飼養されている施設の中で研修を行っています。ユーザー様にご協力いただき、合計 5 日間実際に現場での作業をさせていただき、学習したことを発表するという内容で行いました。参加者は本当に多くのものを学び、大きくなって帰ってきます。今回、その研修で学んだことをまとめ、ポスターとして発表されていただいています。

夏目アワードで社員を表彰

これまでも製品の開発・改良や学会での発表、業界誌への寄稿、資格の取得などといったいろいろな実績がありました。しかしながら、互いに、または全社的に共有し合う機会がありませんでした。2022 年 10 月、“会社理念・ビジョン・行動指針等に則った行動をしたと認められた時” に表彰をされる「夏目アワード」を導入しました。当社の重要活動項目の一つである “チームワークと称え合う風土作り” に取り組んでいます。

継続的スキルアップ研修

年に 2 回のスキルアップ研修を全社で継続的に取り組んでいます。また、資格取得のための講習サポートも勧奨し、社員は積極的に参加しています。ユーザーに価値のある体験をもたらすために、必要な強みを得て、やりがいを実感すること。そして、社員一人一人の成長こそが全社の成長と捉え、誇りをもって働ける環境づくりを目指しています。

LINE WORKS の活用

社内のコミュニケーションツールとして導入した LINE WORKS では、「1 対 1」だけでなく「1 対多数」でのコミュニケーションを取ることができる為、より多くの情報展開・収集が実現しています。速報・記録をすることで、ユーザー様からの貴重なご意見が即時社内に共有される仕組みが確立されています。

第一回 Meet up Lunch 開催！

同じ理念に向かって一緒に活動する仲間として理解をしあうための場づくりとして Meet up Lunch を月に一度開催しています。初回は、創業 27 年の湯島の老舗「Fire House」のハンバーガーをデリバリー。美味しいハンバーガーに自然と笑顔がこぼれました。

NATS 会始まる

業務上のディスカッションをより力ジュアルにアンオフィシャルに行う場として、食事をしながら話をする NATS 会（飲みながら 明るく 楽しく 話をする会）を毎月開催しています。日頃抱いている疑問や改善案などについて、目標・目的・具体的な改善案などの話をする時間を確保し、社内コミュニケーションの活性化とそれに伴う組織の一体化、社員のモチベーション向上に繋がっています。